

令和6年度

適性検査Ⅰ

注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 検査問題は、【問1】から【問4】まで、問題冊子の2～11ページにあり、【問1】から【問3】までは左から、【問4】は右から印刷されています。
- 3 問題冊子とは別に、2枚の解答用紙（解答用紙①は【問1】から【問3】用、解答用紙②は【問4】用）があります。解答は、すべて解答用紙の の中に書きましょう。
- 4 2枚の解答用紙それぞれに氏名、受検番号をまちがいのないよう書きましょう。
- 5 検査が始まってから、印刷がはっきりしないところや、ページが足りないところがあれば、静かに手をあげてください。
- 6 下書きなどが必要なときは、問題冊子のあいているところを使いましょう。
- 7 字数を指定された解答については、句読点（。、）や、かぎかっこなど（「」『』“”）も1字に数えて答えましょう。解答用紙にマスがある場合は、行の最後のマスには、文字や句読点などをいっしょに書かず、句読点などは次の行の最初のマスに書きましょう。
- 8 算用数字で答える場合は、2桁ごとに1マスを使いましょう。
- 9 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きましょう。
- 10 ふりがながふってある文字については、答えをひらがなで書いてもかまいません。

【問1】 香^{かおり}さんは、日本や外国の代表が集まる大事な会議で、出席者などにおくられた品に興味をもちました。各問いに答えなさい。

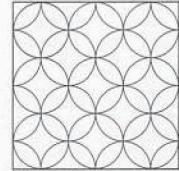
(1) 香さんは、お母さんとバッグのもようについて話しています。

香：お母さんの新しいバッグのもよう、きれいだね。

母：このもようは七宝^{しっぽう}というの。このバッグは、各国の代表が集まる大事な会議で出席者におくられた品で、一般^{いっぱん}にも販売^{はんばい}された物なの。数あるもようから七宝が選ばれたんだって。

香：そうなんだ。どうして七宝のもようが選ばれたのかな。

七宝



香さんは、バッグがおくられた会議や七宝のもようについて調べ、分かったことをメモ1に、考えたことをノート1にまとめました。

メモ1

- ・ 会議名は「G7長野県軽井沢^{がいでいしやう}外相^{がいしやう}会合」。日本をふくむ7つの国や欧州^{おうしやう}連合の代表が、国際社会の大切な課題について一緒に^{いっしょ}解決していくために話し合った。
- ・ もようを決めたのは^{*}外務省の人。バッグを作った職人さんは、七宝のもようが選ばれた理由を、もようの名前に **あ**、会議の名前に **い** があるという共通点と、七宝は円満、調和を表すもようで、「丸く協力し合えるように」という願いから指定されたのではないかと考えていた。
- ・ 職人さんは、七宝の他に下のもようなどを候補^{こうほ}にあげていた。

著作権法に基づき、
公開しません。

(『文様のしきたり』より作成)

- ・ バッグの他に木製の時計などもおくられた。

※外相…外務省の長。外務大臣の略。

※外務省…国の役所の1つ。外国とのつきあいや条約の取り決めなどにかかわる仕事をする。

ノート1

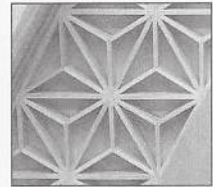
- ・ 職人さんの考えのように、a 七宝はこの会議のおくり物のもようとしてふさわしいと思う。
- ・ 七宝やメモ1にある他の3つのもようには、こめられた **う** があるという共通点がある。
- ・ 七宝や他の3つのもようには、b もようのつくられ方の共通点があって、それによって規則正しいもようがずっと広がっていく感じがする。
- ・ **え** と **お** のもようは、願っていることが似ている。それぞれのもようの中にある三角形に不幸や災いをさける意味があるのかもしれない。

- ① **あ** に当てはまる漢字一文字と、**い** に当てはまる数字を、**メモ1** からぬき出して、それぞれ書きなさい。
- ② **う** ~ **お** に当てはまる最も適切な言葉を、**メモ1** からぬき出してそれぞれ書きなさい。
- ③ 下線部 a について、香さんがこのように思った理由を、もようにこめられた願いと会議とのつながりにふれながら書きなさい。
- ④ 下線部 b について、その共通点を**同じ形**という言葉を用いて書きなさい。
- (2) 香さんは、会議でおくられた時計について調べ、分かったことを**メモ2**に、考えたことを**ノート2**にまとめました。

メモ2

- ・時計には、木片を組み合わせてもようを描く組子細工えがく組みこざいくであさの葉のもようが表されている。
- ・職人さんは、「一生けん命仕上げた作品をぜひ楽しんでほしい」と考えていた。
- ・おくる品について職人さんと相談してきた県の担当の人は、「伝統工芸品で各国の外相をかんげいしたいという思いから選んだ。喜んでもらえるとうれしい」と考えていた。

あさの葉の組子細工



ノート2

- ・組子細工は、それぞれの小さな部材がぴったりおさまるように、長さや角の大きさが正確ですごい技術だと思った。
- ・**か** の七宝のもようや **き** のあさの葉のもようは、どちらも外国の人が喜んでくれそうだと思う。
- ・わたしが赤ちゃんのころの服がとってあって、その服のもようもあさの葉。その服はおばあちゃんが、もようにこめられた願いを大切に思って買ってくれたものだった。c おばあちゃんの思いを感じて、その服を大切にしておきたいと思った。
- ・職人さんや県の担当の人の考えを知って、会議でわたされた品々に d おもてなしの思いがこもっていると感じた。その思いが、品を受け取ったみなさんに伝わっていたらいいと思う。

- ① **か**、**き** に当てはまる最も適切な品の名前を、**メモ1** からぬき出して、それぞれ書きなさい。
- ② 下線部 c について、香さんがこのように思った理由を、もようにこめられた願いにふれて書きなさい。
- ③ 下線部 d について、それはどういった思いか、**メモ2** の職人さんや県の担当の人の思いをもとに、**相手**という言葉を用いて書きなさい。

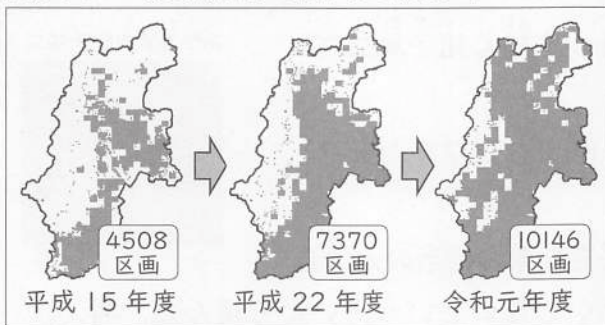
【問2】 ^{なお}直さんと^{ゆい}結さんは、身近な地いきで鹿による^{*}食害が起きていることを知りました。各問いに答えなさい。

※食害…虫や鳥、けものなどが植物や農作物を食べて損害を与えること。

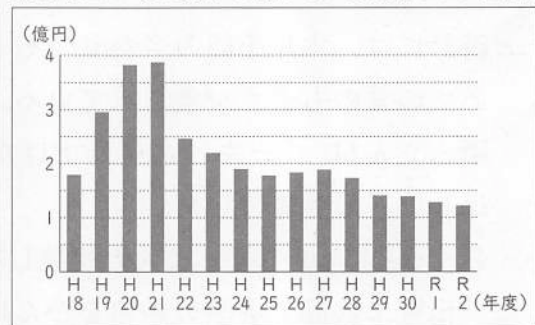
直：うちのおばあちゃんが大事に育てていた野菜を、鹿に食べられたみたい。
 結：うちの畑にも鹿が出てきて困ってるみたい。おじいちゃんが「昔は鹿なんていなかったのになあ」って言ってたよ。
 直：昔に比べて野生の鹿の数が増えているのかな。

(1) 直さんたちは、昔に比べて野生の鹿の数が増えているのか疑問をもち、**資料1～資料3**を見つけて話しています。

資料1 長野県内の鹿の生息分布



資料2 長野県の鹿による農業のひ害額



*1区画は、県内を1km²ごとに分けた面積1つを表す。あみかけの部分は、鹿の生息が確認された区画を示す。

(資料1、資料2 長野県ウェブページより作成)

結：**資料1**を見てよ。あみかけの部分が増えているよ。鹿の数が増えているんだよ。

直：でも、鹿の数が増えたのなら、農業のひ害額が**資料2**のように変化していかないのではないかな。

結：よく見ると、**資料1**のあみかけの部分は鹿の生息が確認された区画だね。鹿の生息分布が広がったのかな。

直：**資料1**と**資料3**を重ねてみると、平成15年度は県の**あ**側や南側にあみかけの部分がかたまっていたのに、16年後の令和元年度には県の南西部を流れる**い**や県の北東部を流れる**う**周辺にまで鹿の生息分布が広がっているよ。

結：生息分布は広がったけれど、数は増えていないのかな。

資料3 長野県の主な河川



① **あ** ~ **う** に当てはまる最も適切な言葉を**資料1**、**資料3**をもとに、次の**ア**~**ク**から1つずつ選び、記号を書きなさい。

ア	西	イ	南	ウ	東	エ	北
オ	天竜川	カ	千曲川	キ	木曾川	ク	犀川

② 直さんが下線部αのように考えた理由を、**資料2**の変化にふれながら書きなさい。

- (2) 2人は、鹿の生息分布の広がり^{はやし}と農業のひ害額^{ひがいごう}の関係について確かめるために、県の担当者の林さんと、資料1、資料2を使いながらオンラインで話しています。

会話1

結：長野県内の鹿の生息分布は広がっているのですか。それとも、鹿の数が
増えているのですか。

林：生息分布は、広がっています。原因として考えられることの 하나가、県や
市町村が行っている鹿のほかくです。鹿はえさや安全な場所を求めて移動
します。生息数については、正確にはわかっていません。

結：分布が広がれば農業のひ害額は増えそうだけれど、鹿をほかくしているから、
ひ害額が減ってきているのですね。

直：生息分布が広がるのなら、鹿のほかくをやめたらどうでしょうか。

林：農業のひ害額は減ってきましたが、毎年 **え** 億円を越えるひ害が出て
います。また、高山植物が食べられてしまったり、道路に鹿が飛び出して
車の事故が起こったりしています。だから、対さくは必要です。

直：ほかくする以外に行っている対さくはあるのですか。

林：鹿が田畑に入れないようにするために、防護さくの設置を進めています。
また、*耕作放棄地の草木をかることで鹿の隠れ場所^{かく}をなくす、いたんだ
野菜を畑に残さないようにして鹿のえさ場を作らないなどの対さくを農家
の方をお願いして、鹿が人里に近づきにくくなるようにしています。県では、
市町村と連携して、b人と野生動物のきん張感のあるすみ分けを目指して
います。資料4、資料5も参考になると思いますよ。

直：農業のひ害額が減っている傾向なのは、平成22年度より前と比べて、県や市町村
が鹿のほかく頭数を **お** ことや、設置した防護さくの総きよりを
か ことなどの対さくを進めた効果が表れているからなのですね。

※耕作放棄地…以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付けせず、この数年の間に再び作付する
考えのない耕地のこと。

資料4 長野県内の鹿のほかく頭数

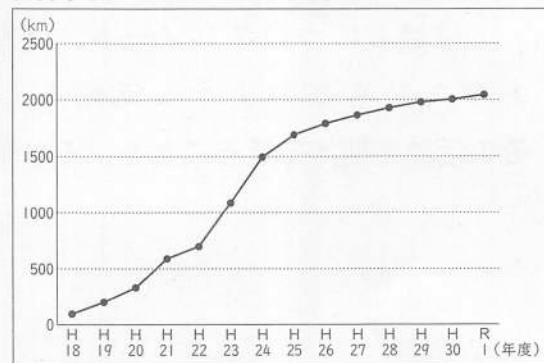
年度	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30	R2
ほかく頭数(頭)	9254	14674	20520	33668	39506	25733	24557	30434

① **え** に当てはまる最も適切な
整数を書きなさい。

② **お**、**か** に当てはまる
適切な言葉を、資料4、資料5を
もとに書きなさい。

③ 下線部 b の実現のために必要だと
考えられる対さくは、鹿のほかく、防護さくの設置以外に何がありますか。
会話1をもとに、2つ書きなさい。

資料5 設置した防護さくの総きより



(資料4、資料5 長野県ウェブサイトより作成)

- (3) 直さんは、自分が暮らしているA市の野生動物への対さくについて調べたことをノートにまとめ、祖母と話しています。

ノート

- ・地いきぐるみで防護さくを設置するのに補助金を出している。
- ・耕作放き地の草木をかるなどの環境整備にA市が協力している。
- ・県と連携して、地いきで田畑を守る取り組みについて助言したり、野生動物に対する住民の意識向上のために呼びかけたりしている。
- ・※狩猟免許をもっている人の高齢化が進んでいることから、取得する人に対して補助金を出して、狩猟免許の取得を進めている。

※狩猟免許…銃やわななどの道具を使って、野生動物をほかくするために必要な免許のこと。

会話2

直：調べてみたらこの辺りにも鹿の生息分布が広がってきているみたいだよ。だから、地域でも農業ひ害を減らすための様々な対さくをしていて、市からは補助金も出るらしいよ。

祖母：どんな対さくをしたらいいの。

直：鹿が人里に近づきにくい環境を作るのが大事なんだって。おばあちゃん、いたんだ野菜を畑に置いておくてしょ。そこが、鹿のえさ場になるみたいだよ。

祖母：それはいけなかったね。これまではいたんだ野菜を畑にそのまま置いていたけれど、これからはきちんと片付けないといけないね。

直：近所の人と一緒に畑の近くを防護さくで囲むと、より効果的みたいだよ。
c 人間と鹿がそれぞれの場所で上手に生きていくことができればいいの
にね。

下線部cについて、ノート、会話2の内容にある対さくが進むように、あなたならどのような活動をしようと考えますか。具体的な活動とその活動で期待できることを、それぞれ書きなさい。

【問3】 ^{あゆみ} 歩さんの学級では、「地いきの新発見」をテーマに調べ、報告会を行うことになりました。各問いに答えなさい。

(1) 歩さんは、ブドウ作りについて調べたことを、コンピュータを用いて**発表用ポスター**に下書きしました。

発表用ポスター

ブドウ作りの新発見！

6年1組 ^{やまもと} 山本 歩

1 きっかけ

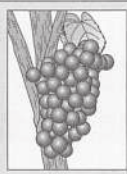
通学路のわきに使われなくなっていた畑があった。春ごろから、^{はりかね}針金がはられた列ができ、何かが育てられている様子だった。地いきの新しい取り組みなのではないかと思い、調べようと思った。

2 調べることと調べる方法

- ・ と を調べる。
- ・ 畑の持ち主の ^{みなみ}南さんにインタビューをする。
- ・ インタビューの情報をもとに、本やインターネットで調べる。

3 調べて分かったこと

- ① 育てられているもの
- ・ ワイン用ブドウの品種、メルロー。



② 針金のはり方

- ・ 針金は、鉄などでできた柱と柱の間に、2～3本平行にはられている。
- ・ 針金の役わりは、ブドウの枝をそわせ、枝を横や上にのばすこと。
- ・ このようなブドウの木の作り方を、かきね仕立てと言う。

③ その他に分かったこと

- ・ たな仕立てという作り方もある。
- ・ 針金は、2m位の高さに、何本もの針金があみ目のようにはられている。
- ・ 針金の役わりは、ブドウの枝をそわせ、枝を天井のように広くのばすこと。
- ・ たな仕立ての長所は、1本からとれるふさの量が多く、品質がよい。
- ・ かきね仕立ての長所は、枝の管理がしやすい、などがある。

4 まとめ

針金や育てられているものが気になって調べ始めたら、ワイン用のブドウ作りを始めたということが分かった。「かきね仕立て」と「たな仕立て」のちがいを明らかにできた。

、 に当てはまる適切な言葉を、**発表用ポスター**をもとに次のア～カから1つずつ選び、記号を書きなさい。

- | | | | |
|---|---------------|---|------------------|
| ア | 何が育てられているのか | イ | どれ位の量が作られているのか |
| ウ | 何時間位作業をするのか | エ | 必要な針金の長さは何m位なのか |
| オ | 畑の広さはどれ位になるのか | カ | 針金はどのような役わりをするのか |

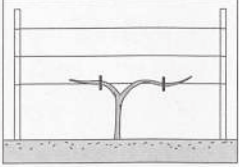
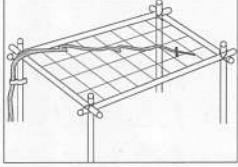
- (2) 歩さんは、^{めぐみ}恵さん、^{ひろし}宏さんに**発表用ポスター**を見せながら発表の練習をした後、2人から意見をもらっています。

歩：報告会に向けて、**発表用ポスター**の^{かいぜん}改善点はあるかな。
 恵：「かきね仕立て」と「たな仕立て」の情報がおもしろかったのだけれど、
 ②と③に分かれていて分かりづらいと思ったんだ。
 歩：そうか。わたしは、③が後から分かったので **う** の順に書いたんだ。
 宏：歩さんが考えた順は分かるけれど、2つの仕立てを比かくして、それぞれのちがいが分かりやすくなるといいかな。
 恵：②、③の針金の **え** は、仕立ての図を入れるともっと分かりやすいと思うよ。例えば、a表に整理して、その表の中に針金の **え** と図を入れるのはどうかな。
 歩：ありがとう。表を作ってみるね。
 宏：ぼくが気になったのは、b歩さんが一番明らかにしたいことが調べられていないのではないかと、ということだよ。きっかけに書かれている **お** と思うのだけれど、どうかな。
 恵：そのようなことがまとめて書かれるといいね。

- ① **う**、**え** に当てはまる最も適切な言葉を、**発表用ポスター**からぬき出して、それぞれ書きなさい。

- ② 下線部 a について、歩さんは、次のように**表のレイアウト**を作りました。

表のレイアウト

仕立て 調べたこと	か 仕立て	き 仕立て
針金の え と図	(説明を書く) 	(説明を書く) 
く	ブドウの枝をそわせ、枝を横や上にのばすこと。	ブドウの枝をそわせ、枝を天井のように広くのばすこと。
長所	(長所を書く)	(長所を書く)

- か** ~ **く** に当てはまる最も適切な言葉を、**発表用ポスター**からぬき出して、それぞれ書きなさい。

- ③ **お** には、下線部 b のように宏さんが発言した理由が入ります。 **お** に当てはまる適切な言葉を、**発表用ポスター**をもとに書きなさい。

(3) 歩さんは、もう一度南さんと話しています。

会話

歩：南さんがワイン用ブドウを作り始めたのは、地いきの取り組みと何か関係があるのですか。

南：わたしたちの地いきがワインの特別区いきにんていに認定され、地いきのワインを造る人たちに、地いきのワイン用ブドウが必要とされているんだ。

歩：くわしく教えてください。

南：この**資料1**を見て。ワインを造って売するには年間に最低でも造らなければいけない量が決まっている。それを最低じょう造数量と言うよ。このきまりを変えられるのが特別区いき制度なのだけれど、何か気が付くことはあるかな。

歩：6000 L から 2000 L に減っています。造らなければいけない量を少なくしていいというきまりなのですね。

南：その結果の一部が、**資料2** なんだ。

歩：ワイナリー数は増えていますね。今までワインを造りたくても 6000 L は造れなかった人が、2000 L なら造れそうだと取り組んだのですね。

南：この制度の c 条件によって、地いきのワイン用ブドウが必要とされているということなんだ。ブドウ農家もがんばっているよ。

資料1 ワインの構造改かく特別区いき制度

- 市町村からの申し出に基づき、
*内かく府が認定する。
- ワインの最低じょう造数量 6000 L を、特別区いき内の原料のみを使う場合、2000 L に引き下げることができる。

※内かく府…国の役所の一つ。内かくの重要政策に関する事務を中心に、各省庁の調整を行う。

資料2 長野県内のワイン構造改かく特別区いき認定市町村数と*ワイナリー数

- 長野県内の特別区いき認定市町村数
2(平成 25 年 3 月)→28(令和 5 年 3 月)
- 長野県内のワイナリー数
25(平成 25 年 3 月)→71(令和 5 年 3 月)

※ワイナリー…ワインの製造所。

(資料1、資料2 長野県、信州ワインバレー構想推進協議会「信州ワインバレー構想 2.0」より作成)

- ① 下線部 c について、その条件を、**資料1** の言葉と数を用いて書きなさい。
- ② 歩さんは、**発表用ポスター**のまとめを改善しようと、次のように**メモ**に書きました。

メモ

け ことで、最低じょう造数量が引き下げられ、ワイン造りを始めやすくなっていることが新しい発見だった。ワイン造りが活発になって、地いきが元気になりそうだとすることをまとめに書こうと思う。

け に当てはまる適切な言葉を、**会話**をもとに書きなさい。

著作権法に基づき、
公開しません。

(稲垣 栄洋 著 『ナマケモノは、なぜ怠けるのか?』)

生き物の個性と進化のふしぎ

- ※戦略……戦いや競争に勝つための計画。
- ※天敵……食べられる動物に対して、食べるほうの動物。
- ※特殊……ふつうのものと、ちがっていること。
- ※掟……仲間の間で決めた、きまり。
- ※有史……(文字で書かれた)歴史。
- ※虐げる……いじめて、苦しめる。
- ※慈愛……いつくしみ、かわいがること。また、その心。
- ※培う……やしなうて、育てる。

- ア 人間は、高れい者やしょう病者だけの経験を参考にしてきたこと
- イ 人間は、他者をかawaiiがる情に満ちた生き物ではなかったこと
- ウ 人間は、戦争や弱い者を苦しめるようなことが本来のすがただと信じていること
- エ 人間は、色々な人を集団の一員として、知えを出し合ったこと

(4)

線部 c、線部 e について、次の条件にしたがって自分の体験と考えを書きなさい。

条件

- ・二段落構成とし、一段落目には知えを出し合う、知えを集める、知えを伝えるなどをして、はじめの状態よりも改善することができた体験を書くこと。
- ・二段落目は、一段落目に書いた体験から今後あなたが大切にしていきたいと考えることを、線部 e と関連づけて書くこと。
- ・文字数は、百六十文字以上二百字以内として、一行目から文章を書くこと。なお、書き出しや段落を変えたときの空白になるマスも、一字に数えます。

【問4】 次の文章は、様々な生き物を研究している筆者が、生き物はどのような生き方を選択して生きぬいてきたのかを考えた章の最後の部分です。

この文章の前に、筆者は、「得意なところで勝負する」ということが、生き物が生きぬく上での基本戦略であり、生き物の種類ごとに戦略があると述べています。

次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

著作権法に基づき、
公開しません。

(1) — 線部 a について、筆者は、足の速さという観点で、人間とチーターを比べて説明しています。次の表の **あ**、**い** に当てはまる言葉を、

— 線部 a の段落の中からぬき出して、それぞれ書きなさい。

表

チーター	人間	足の速さ	理由
速い	足がみんな が あ	生きていけない ほど い	はない で
		生きるために い	である

(2) — 線部 b について、筆者が、この理由を具体的に述べている部分はどこですか。文末が「から。」につながるように、— 線部 b より後の文章の中から、三十五字でぬき出して書きなさい。

(3) — 線部 d について、筆者が「人間の強さ」ととらえていることとして最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号を書きなさい。